



2021年9月期 決算説明会資料

2021年 11月

目次



グループ概要・事業内容

2021年9月期の業績

2021年9月期のトピックス

2022年9月期の計画

新市場区分への移行及び中期経営計画

【参考】 株式情報

目次



グループ概要・事業内容

2021年9月期の業績

2021年9月期のトピックス

2022年9月期の計画

新市場区分への移行及び中期経営計画

【参考】 株式情報

会社概要 (2021年9月末現在)



商号	株式会社 C E ホールディングス
設立	1996年3月25日
資本金	11億7,594万円
所在地	札幌市白石区平和通15丁目北1番21号
代表者	代表取締役社長 杉本 恵昭
上場市場	東証一部、札証（証券コード：4320）
主な株主	日本電気株式会社、日本事務器株式会社、 日本生命保険相互会社、 株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行
従業員数	529名（連結）
連結子会社	株式会社シーエスアイ (100.0%) 株式会社 M o c o s u k u (57.5%) 株式会社エムシーエス (51.0%) 株式会社マイクロン (70.6%) 株式会社エムフロンティア (マイクロン100.0%) 株式会社システム情報パートナー (100.0%) ※ 1 株式会社ディージェーワールド (100.0%) ※ 1
() 内は持株比率	

※1 2021年10月1日付で、両社は合併し、存続会社の商号を株式会社デジタルソリューションに変更しております。

※2 株式会社駅探は、2021年8月18日に当社保有株式のすべてを譲渡したため、持分法適用の範囲から除外されました。

当社グループの概要

※  は連結子会社



CEホールディングス

略称 CEHD
設立 1996年3月
上場会社・持株会社



シーエスアイ

略称：CSI 持株比率：100.0%

電子カルテシステム「MI・RA・Is」を中心とした医療システム開発と受託システム開発



エムシーエス

略称：MCS 持株比率：51.0%

看護業務システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



マイクロン

持株比率：70.6%

イメージング技術を活用した効率的な臨床開発支援



エムフロンティア

持株比率：マイクロン 100.0%

臨床開発に必要な、高度な人材の派遣



デジタルソリューション

略称：DS 持株比率：100.0%

医療情報システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート

※1



Mocosuku

持株比率：57.5%

Web事業、産業保健事業、人材事業

※1 2021年10月1日付で、株式会社システム情報パートナーと株式会社ディージェーワールドが合併し、存続会社の商号を株式会社デジタルソリューションに変更しております。

※2 株式会社駅探は、2021年8月18日に当社保有株式のすべてを譲渡したため、持分法適用の範囲から除外されました。

駅探との資本・業務提携解消



- 2021年8月6日の取締役会において、当社が保有していた株式会社駅探の普通株式全てを株式会社Bold Investmentに売却し、駅探との資本・業務提携を解消することを決議。また同日、Bold Investmentと株式譲渡契約を締結。
- 同契約に基づき、2021年8月18日に株式売却を実行。
- これにより、駅探は当社の持分法適用関連会社から除外された。
- 駅探株式売却により、2021年9月期の連結決算において114百万円を特別利益に計上、同個別決算において87百万円を特別損失に計上した。

2012年5月



ポラリス第一号投資事業有限責任組合と株式譲渡契約を締結し、駅探は当社の持分法適用関連会社となった。

2013年4月



駅探との合併により、株式会社CEリブケア（現 株式会Mocosuku）を設立。

（提携の主目的であった、移動サポートと医療機関情報を連携した付加価値の高い情報サービスへの取り組みについて検討が進まず。

2020年6月



駅探の事業展開の遅滞と企業価値減少、及び組織運営上の重大な問題から、当社は株主提案を行ない、当社取締役金田直之氏が、駅探代表取締役社長に就任。

2021年8月



駅探株式売却。資本・業務提携を解消。

事業内容



セグメント	主要な製品・サービス		提供会社（※）
医療 ソリューション 事業	電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」	MI・RA・Is/AZ 等 (介護機能：オプション)	CSI、MCS
	地域医療連携システム	ID-Link	CSI
	診療予約、予約日時リマインダー、メール案内	かかりん	CSI
	Web問診サービス	かかりん DX問診	CSI
	医療情報システムの受託開発		CSI、DS
	医療情報システムの運用管理（病院内のシステム・ネットワークの運用管理等）		DS
	医療機関向け料金後払いシステム		DS
	医療品・医療機器の臨床開発受託		Micron
その他	Web事業、産業保健事業、人材事業		Mocosuku
	デジタルサイネージ		DS

（※）
会社略称 CSI：株式会社シーエスアイ、MCS：株式会社エムシーエス、DS：株式会社デジタルソリューション、
Micron：株式会社マイクロン、Mocosuku：株式会社Mocosuku

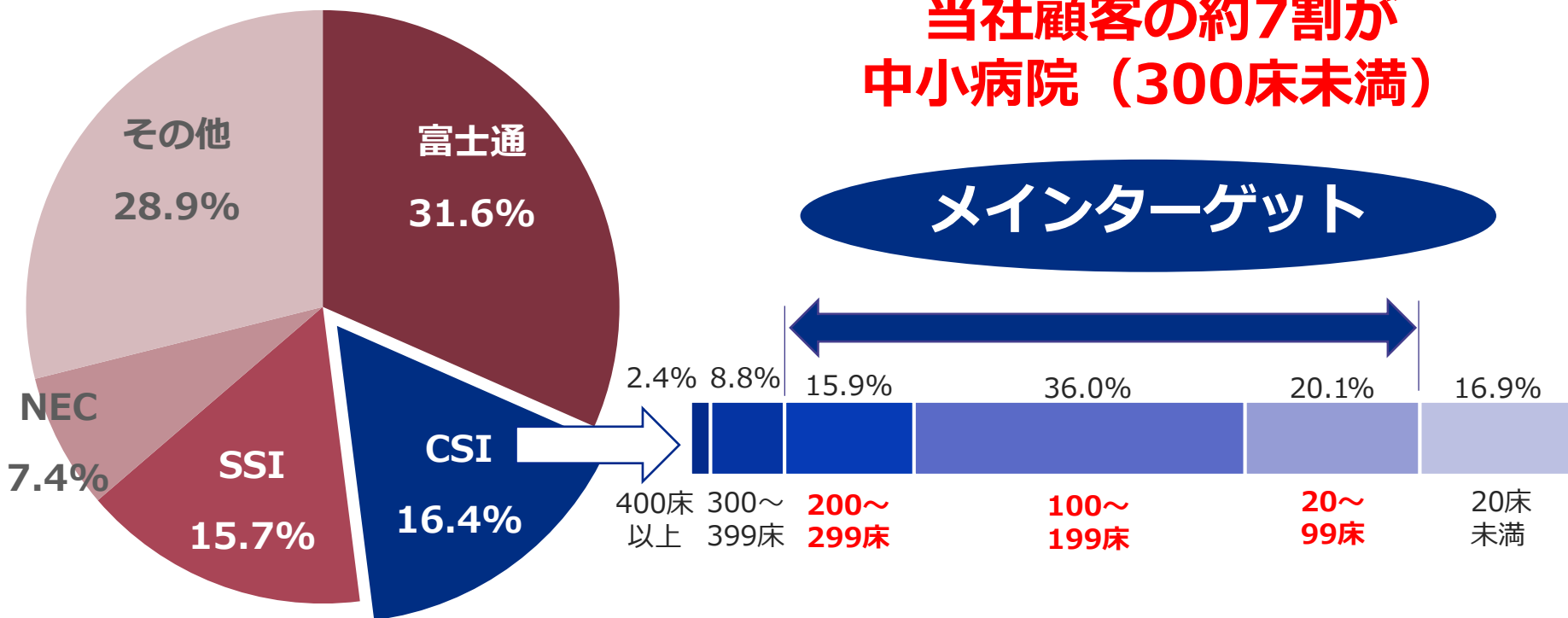
電子カルテシステム シェア・当社の特色

導入件数 国内第2位

中小病院に特に強み

当社顧客の約7割が
中小病院（300床未満）

メインターゲット



※ 「医療機器システム白書2021」 データから当社集計

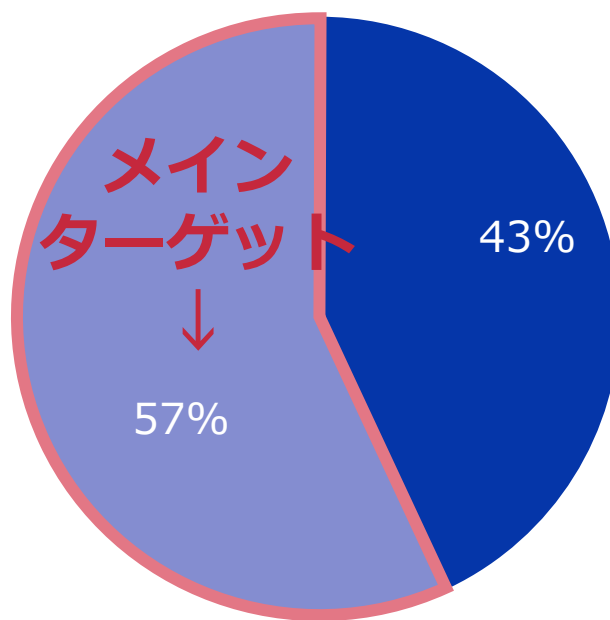
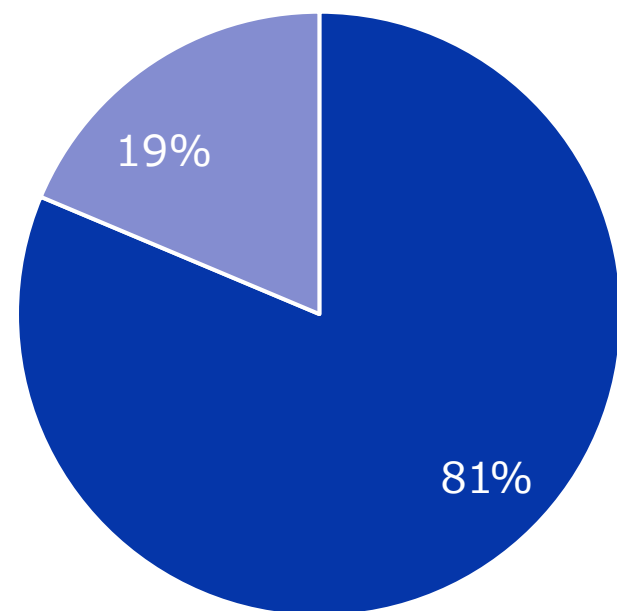
電子カルテシステム導入率



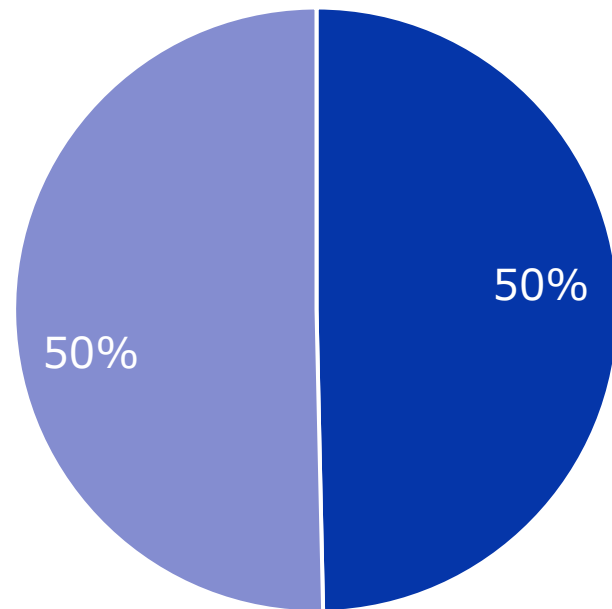
大病院
(300床以上)

中小病院
(300床未満)

合計

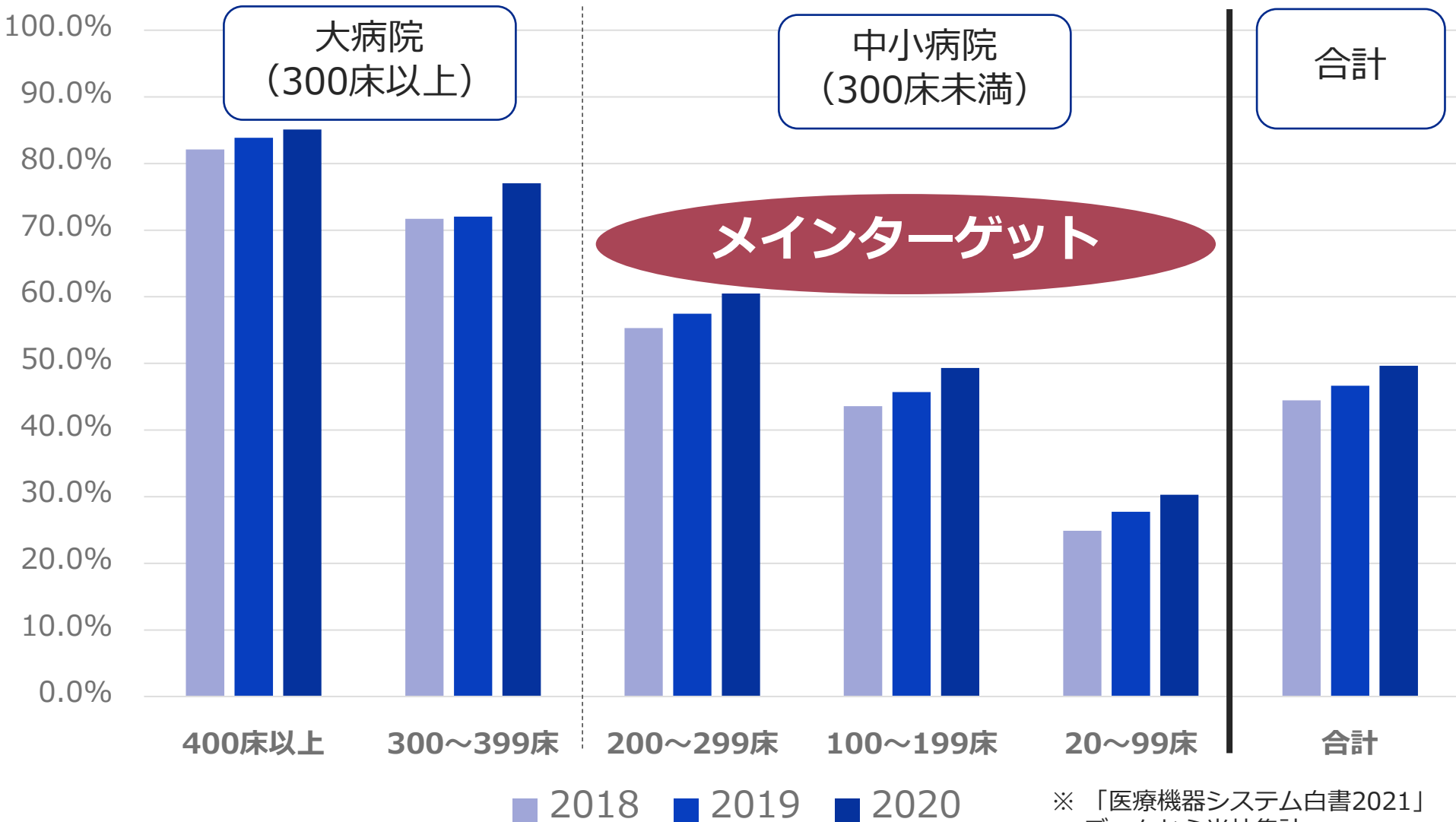


■ 導入 ■ 未導入



※ 「医療機器システム白書2021」
データから当社集計

電子カルテシステム導入率の推移



※ 「医療機器システム白書2021」
データから当社集計

目次



グループ概要・事業内容

2021年9月期の業績

2021年9月期のトピックス

2022年9月期の計画

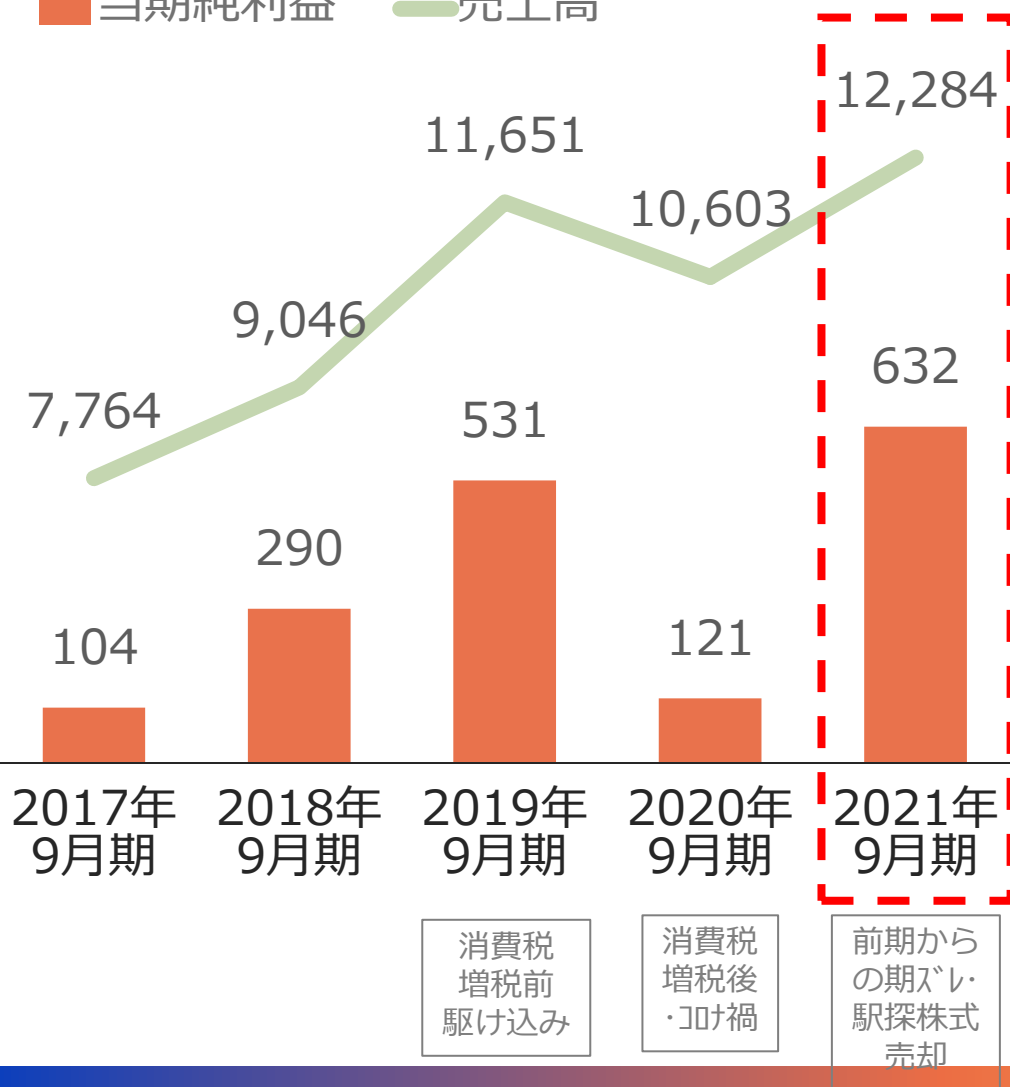
新市場区分への移行及び中期経営計画

【参考】 株式情報

2021年9月期 連結業績



■ 当期純利益 ■ 売上高



■ 売上高は前期を上回る (+15.8%)

- 前期、新型コロナウイルスの影響で受注遅れや延期されていた案件が当期に計上。
- 当期の受注も前期に比べ伸長。
- 前第2四半期連結累計期間より連結対象となったMicronの業績が加算。加えて、Micronの画像解析支援サービスも好調。

■ 利益面も大幅に増加 (+421.2%)

- 売上増に伴う売上総利益増加。
- 駅探に係る持分法による投資損益が改善
- 駅探株式売却により、関係会社株式売却益を特別利益として計上

損益計算書（連結）



単位：百万円	2020年9月期 実績	2021年9月期		前期比 増減率	修正計画比 増減率
		修正計画 (2021年8月6日)	実績		
売上高	10,603	12,600	12,284	+ 15.8%	△ 2.5%
営業利益	547	900	879	+ 60.7%	△ 2.3%
経常利益	452	920	908	+100.8%	△ 1.2%
当期純利益	121	620	632	+421.2%	+ 2.1%

- 販売は、前期において新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、検収が延期となった案件の売上が当期に計上されたことに加え、当期における受注についても前期に比べ伸長したことから好調に推移。また、前第2四半期連結累計期間より連結対象に追加した株式会社マイクロン及びその子会社の株式会社エムフロンティアの業績が加算されたことや、マイクロンにおける画像解析支援サービスが好調だったことなどから、売上高は過去最高となった。
- 利益面においても、売上増に伴う売上総利益の増加や、株式会社駅探に係る持分法による投資損益が改善したことで、大幅に増加。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、駅探株式の売却による関係会社株式売却益を特別利益として計上したことから、大幅に増加。

セグメント別実績（連結）



単位：百万円		2020年9月期 実績	2021年9月期 実績	前期比 増減率
医療 ソリューション事業	売上高	10,504	12,133	15.5%
	セグメント利益	575	888	54.3%
その他	売上高	99	151	52.5%
	セグメント損失	△ 10	△ 11	—

・記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別受注状況（連結）



単位：百万円

	2020年9月期 実績		2021年9月期 実績		前期比 増減率	
	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高
医療ソリューション事業	10,617	4,239	11,638	4,658	+ 9.6%	+ 9.9%
その他	52	8	72	17	+ 37.4%	+105.4%
合 計	10,670	4,247	11,711	4,676	+ 9.8%	+ 10.1%

受注高・受注残高ともに
2期連続で過去最高を更新

・記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

剰余金配当に関して

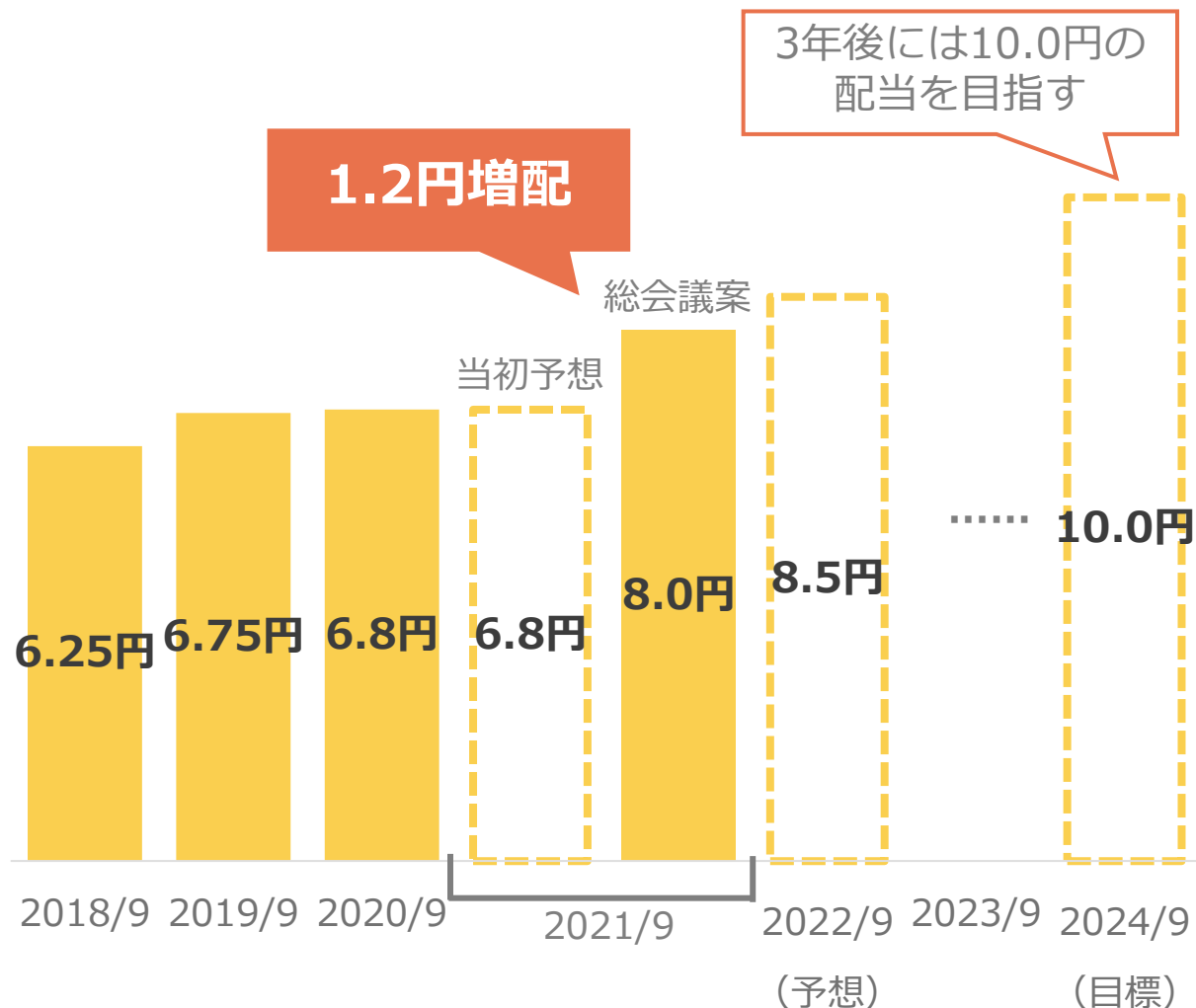
定時株主総会
付議予定

【利益配分に関する基本方針】

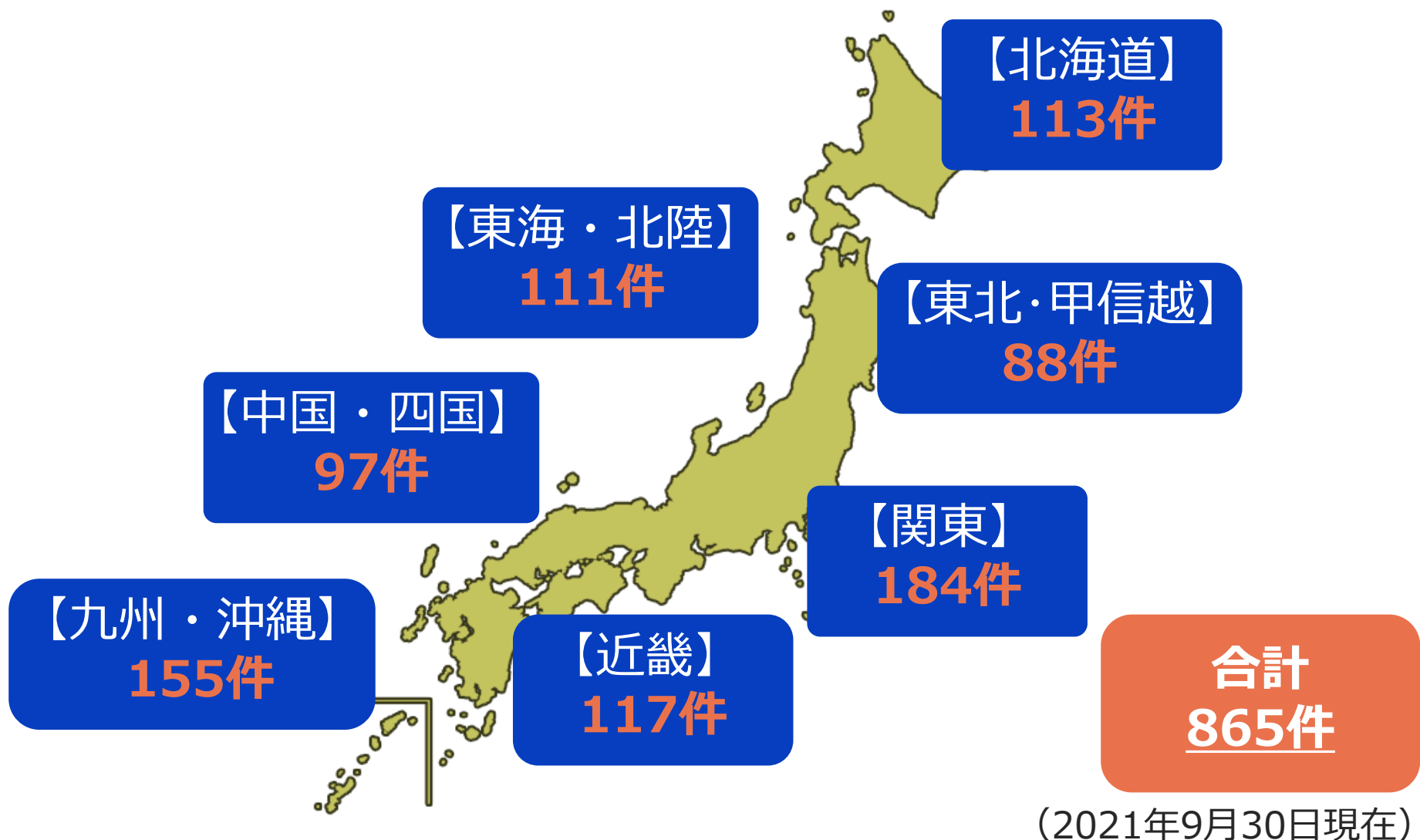
- 株主尊重を第一義として考え、利益配分については、経営基盤の一層の強化と事業拡大に必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を継続して実施していく。

【増配理由】

- 2021年9月期の業績において、親会社株主に帰属する当期純利益が当初計画（380百万円）を大幅に上回る結果（632百万円）となったため。



MI・RA・Isシリーズ導入実績

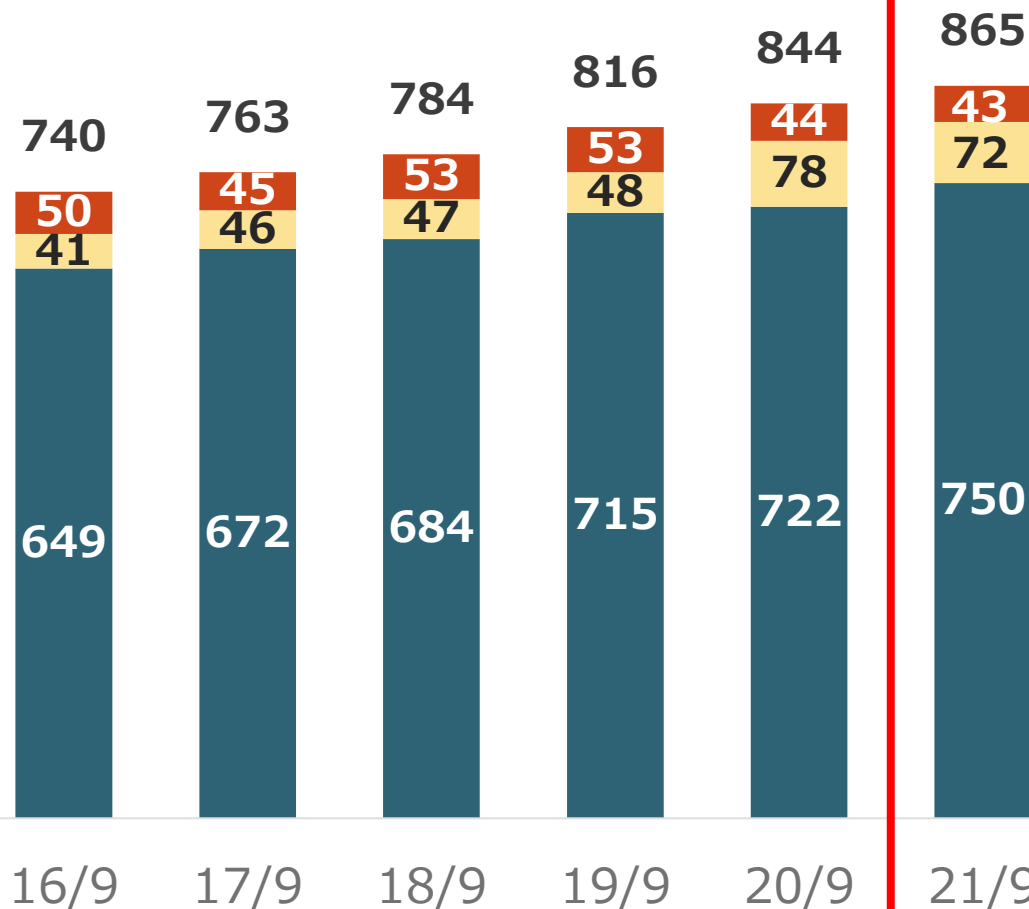
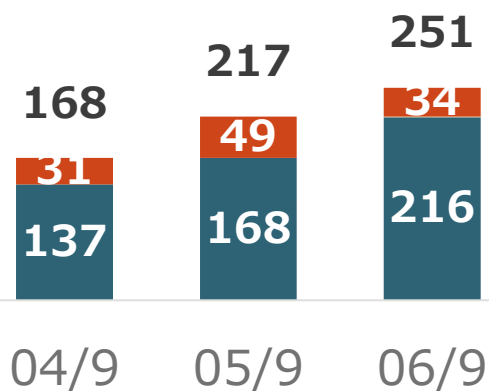


MI・RA・Isシリーズ導入数推移

■ 新規ユーザー
(当期新規獲得)

■ 継続ユーザー
(当期アップグレード)

■ 継続ユーザー



目次



グループ概要・事業内容

2021年9月期の業績

2021年9月期のトピックス

2022年9月期の計画

新市場区分への移行及び中期経営計画

【参考】 株式情報

代表取締役の異動（追加選任）

- 当社企業価値を一層向上させるためには、規模の拡大に加え、グループの総力を結集し、データ利活用を基軸としたサービスビジネス等の展開により提供価値を拡大していく等、企業として新たなフェーズに移行していくことが必要であると判断し、代表取締役の異動を内定。
- 2021年12月21日開催予定の第26回定時株主総会及びその後の取締役会の決議にて、正式に決定される予定。

氏名	新役職	現役職
杉本 恵昭	代表取締役会長	代表取締役社長
齋藤 直和	代表取締役社長	取締役 (現CSI代表取締役社長)

(齋藤直和は、2021年12月21日付で、CSI代表取締役社長から取締役会長に異動を予定。)



「かかりん DX問診」 (院内問診版) 販売開始

電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」と連携可能なWebの問診サービスを販売開始。

待合室

・どのような症状？
・いつから？
・・・・？



電子カルテへ
即座に連携

診察室



患者
メリット

- ・ 分かりやすい入力方法
- ・ 専門用語なし

- ・ 電子化の手間なし
- ・ 専門用語に自動変換

医師
メリット

- 「MI・RA・Isシリーズ」と安価かつ迅速にシームレスな連携が可能 ※1
- 他社製電子カルテシステムとの連携も可能（個別対応が必要です）
- 他社問診サービスより安価に提供 ※2
- 将来、患者が自宅で入力可能な「院外問診」や、予約も同時に行えるサービスへの展開を予定



新型コロナウイルスワクチン接種 Web予約・問診サービス

(2021年9月発表)

- シーエスアイは、新型コロナウイルスワクチン接種に係るWebサービス「**ワンストップ問診サービス**」を開発。株式会社リプロセルが運用する職域接種にて導入。



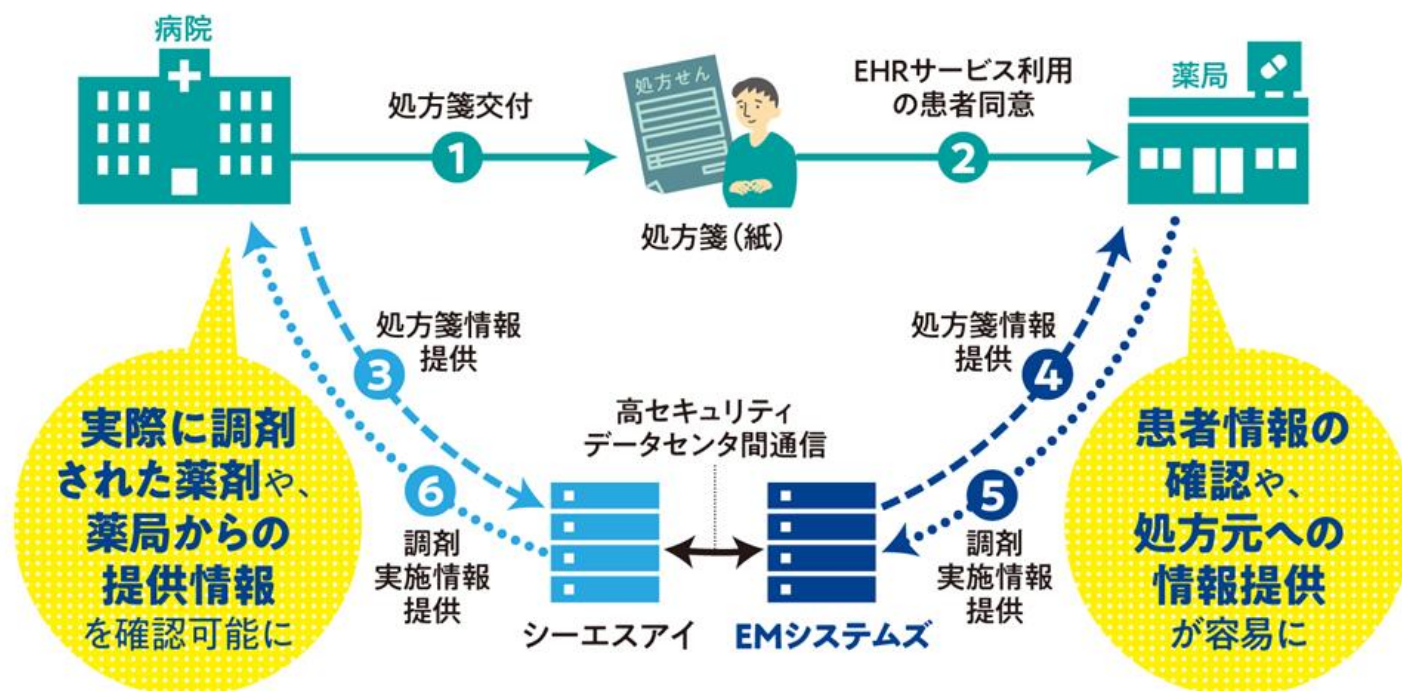
【主な内容】

- インターネットによる予約機能
 - 予診票事前入力機能
 - 接種後問診機能
 - 継続問診機能
 - 接種情報の管理機能
 - リマインダー機能
- 
- 担当の事務負担軽減
 - 問診票の内容を事前に把握可能
 - 事前入力で予診票紛失でも対応可能
 - 容易な副反応情報の報告
 - 接種情報をデジタル化
 - 接種失念を防止

病院と保険薬局のEHR連携サービス提供開始

株式会社EMシステムズと共同開発した新たな病薬連携サービスについて、
2021年1月から大牟田天領病院（福岡県大牟田市）で運用開始

病院・薬局間の医療情報連携の流れ



- 病院と保険薬局間で処方箋情報や調剤実施情報を電子的に連携
- 今後、EMシステムズとシーエスアイは全国各地の病院での導入を推進

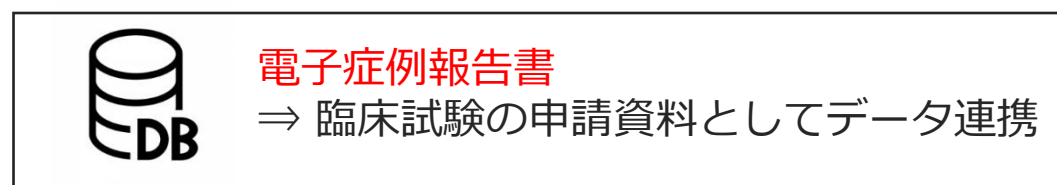
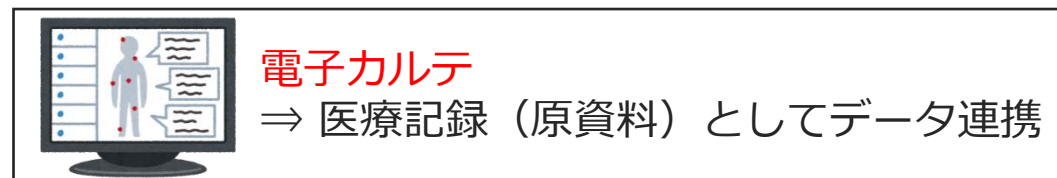
臨床開発等領域におけるリアルワールドデータ利活用事業開始 (マイクロン・シーエスアイ共同事業)

- 世界の医薬品・医療機器の臨床開発及び臨床研究領域（以下、臨床開発等）において、臨床現場を中心とした日常診療の情報（リアルワールドデータ：RWD）を利活用することで、臨床開発等に要する時間や費用削減を目指す動きが活発化



大手電子カルテベンダー（シーエスアイ）とユニークなCRO（マイクロン）が同一グループにある強みを生かし、両社共同で「**リアルワールドデータ事業**」を開始

- 第一弾として、シーエスアイが医療施設向けに展開するWebサービス「かかりんDX問診」のシステム基盤を活用して、「**ePRO-RWDサービス**」（仮称）を両社で協力し構築（2022年1～3月を目途にサービス提供開始予定）



ePRO : electronic Patient-Reported Outcome（電子的患者報告アウトカム（結果・成果））



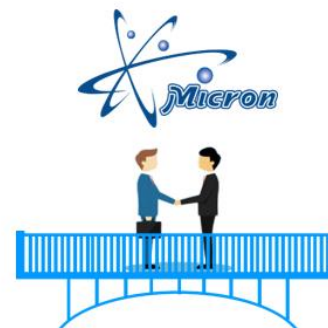
サムディー

(2021年7月発表)

SaMD開発支援・マッチング事業



診断



製薬企業
医療機器メーカー

治療

- マイクロンは、画像解析技術を活用したプログラム医療機器（SaMD : Software as a Medical Device）に係るマッチングを行い、導入を推進する取り組みを開始。
- 先進的な技術を持った画像解析技術の日本国内への導入、紹介、提案を実施することで、以下のような業務の拡大を図る。
 - 海外の先進的なプログラム医療機器が、国内で承認・認証取得する際のサポート業務受託
 - 上記により承認・認証取得したプログラム医療機器の販売
 - プログラム医療機器を使った臨床試験の受託

目次



グループ概要・事業内容

2021年9月期の業績

2021年9月期のトピックス

2022年9月期の計画

新市場区分への移行及び中期経営計画

【参考】 株式情報

新型コロナウイルス感染症の影響について

2021年9月期 通期業績への影響

- 当社グループの医療機関を中心としたお客様への営業活動やシステム導入作業が一部制約を受けたことや、医薬品の臨床開発プロジェクトの遅延により、当期に売上計上を想定していた複数の案件で受注遅れや延期が発生したものの、その件数や金額は軽微であった。

2022年9月期 通期業績への影響

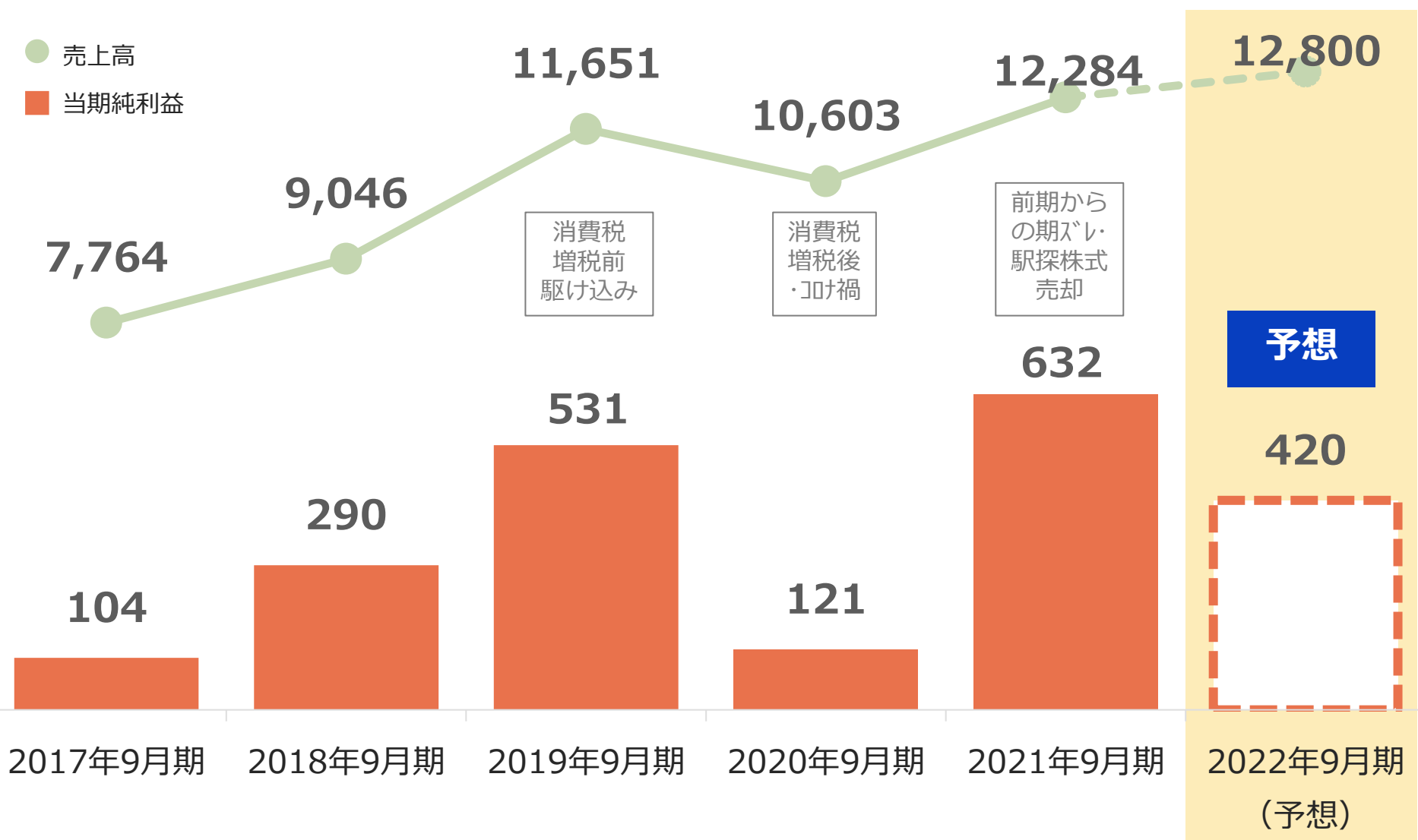
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大及びその長期化により、現在発生しているあるいは発生のおそれがある事象として以下のようなものがある。
 - ・ 医療情報システムを受注した病院において、新型コロナウイルスの対策として病院関係者以外の施設内への立ち入り制限が行われる、あるいは、病院内での感染発生や当社グループもしくは販売パートナーの担当社員等が感染した場合、導入作業が中断し、納品が遅れることにより、売上計上が遅延する。
 - ・ 医療機関が新型コロナウイルスの対策を優先することにより、当社グループまたは販売パートナーにおける営業活動が長期停滞した場合、受注状況が悪化する。
 - ・ 支援を受注した医薬品等の臨床開発プロジェクトにおいて、予定された症例数（データ）を集められず、プロジェクトの進捗が遅延し、売上計上が延期する。

※ 例示であり、これに限るものではありません。

2022年9月期 業績見通し



● 売上高
■ 当期純利益



2022年9月期 業績見通し



単位：百万円	2021年9月期 実績	2022年9月期 計画	前期比増減率
売上高	12,284	12,800	+ 4.2%
営業利益	879	800	△ 9.0%
経常利益	908	800	△ 12.0%
当期純利益	632	420	△ 33.6%

- 売上高は若干の増収となり、**2期連続で過去最高を更新**すると予想。
- 利益面について、2021年9月期は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、その前の期から延期された案件の売上計上が業績に大きく貢献した一方、2022年9月期は、**データ利活用を基軸としたサービスビジネスなどに向けた戦略投資のための研究開発費が増加**することなどにより、**営業利益は前期比で減益**となる見通し。加えて、2021年9月期は関係会社株式の売却により特別利益を計上したこともあり、**親会社株主に帰属する当期純利益も前期比で減益**となることを予想。

・2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。そのため、前期比増減率は参考値です。

目次



グループ概要・事業内容

2021年9月期の業績

2021年9月期のトピックス

2022年9月期の計画

新市場区分への移行及び中期経営計画

【参考】 株式情報

新市場区分への移行及び中期経営計画



- プライム市場上場維持基準への適合状況：流通株式時価総額（100億円）のみ非適合
 - 東証から通知された一次判定結果（基準日 6月30日）：53.0億円
 - 直近時における当社試算（基準日 9月30日）：61.4億円
- 2021年11月15日に、プライム市場を選択する方針を取締役会決議
- プライム市場の上場維持基準充足に向けた具体的な計画・取り組みについては、「プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画書」を、取締役会決議及び東証への申請後速やかに開示する予定
- また、本計画書と整合した中期経営計画を、本計画書とともに当社取締役会決議を経て開示する予定

成長戦略



中期的成長戦略

既存の顧客基盤や経営資源を活用・発展させ、**新たな価値を継続的に提供し続けるサービスビジネスを創出**することで医療を含むヘルスケア分野の様々な課題を解決する

コア・コンピタンス

医療領域（医薬を含む）における現場のニーズを理解し、中長期にわたり継続的に価値を提供しつづけることができる製品と人材を保有している

ケイパビリティ

医療従事者の現場利用率が最も高い電子カルテシステムで大きなシェアを有している

医療施設に関連する製薬企業や医療機器企業の事業ニーズを把握することが出来る

複数製品で構成される医療施設のITシステム全体を把握し、その機能・運用に関与できる

医療現場における多種多様なシステムとの接続・連携ノウハウを保有している

医療ICT市場からヘルスケアDX市場へ進出

医療ICT市場

医療関連施設

(病院、診療所、介護、調剤薬局等)

- 電子カルテシステム
- 電子問診サービス
- オンライン診療サービス
- クラウド型電子カルテシステム



製薬企業

- ePRO、バーチャル治験
- RWD/RWEの活用
- リモートMR
- AI創薬 等



個人

医療機器企業

- ソフトウェア医療機器 (SaMD)
- IoT医療機器(IoMT)
- ロボティクス活用 等



保険関連団体

(自治体・健保組合・民間保険企業等)

- 医療データ分析
- データ活用型保険
- 健康経営、健診事業の発展 等



健康サービス・マーケティング企業 等
ダイエット、健康食品、運動 等

ヘルスケア
DX市場

ヘルスケアDX市場は2030年頃までに1兆円を超えると予想※

※野村證券 野村週報2021年6月14日号「産業界」より <https://fintos.jp/page/12843>
(図はCEホールディングス 作成)

目次



グループ概要・事業内容

2021年9月期の業績

2021年9月期のトピックス

2022年9月期の計画

新市場区分への移行及び中期経営計画

【参考】 株式情報

株式情報（2021年9月30日現在）



証券コード	4320
上場市場	東京証券取引所市場第一部、札幌証券取引所
株式の売買単位	100株
発行可能株式総数	39,932,000株
発行済株式の総数	15,178,500株（自己株式 217,014株を含む）
株主数	16,163名
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日
	期末配当金 毎年9月30日

大株主上位10名等（2021年9月30日現在）



株主名	持株数	持株比率
MSIP CLIENT SECURITIES	1,479,100	9.89%
光通信株式会社	1,464,400	9.79%
杉本 恵昭	1,410,800	9.43%
日本電気株式会社	1,200,000	8.02%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	919,100	6.14%
日本事務器株式会社	283,200	1.89%
野村信託銀行株式会社 （投信口）	254,600	1.70%
株式会社北洋銀行	225,200	1.51%
赤塚 彰	173,000	1.16%
株式会社日本カストディ銀行 （信託口）	144,200	0.96%

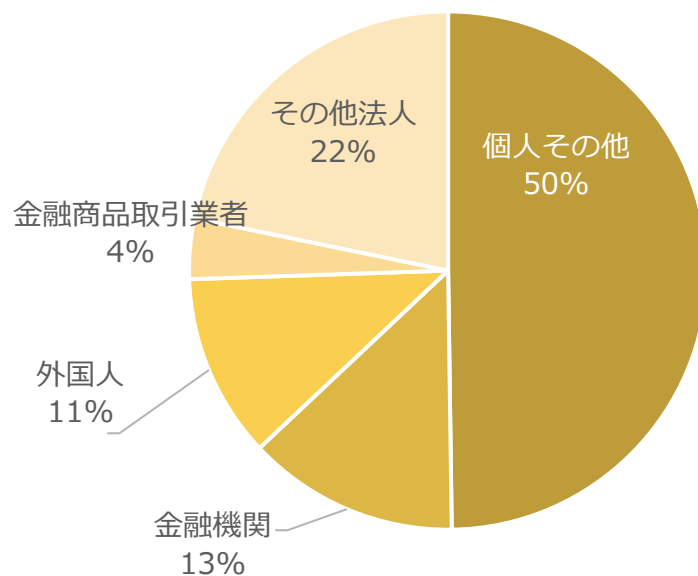
	株数	保有比率
特定株	7,816,514	51.50%
浮動株	3,608,800	23.78%

※特定株：

大株主上位10名+役員持株+自己株式（重複分除く）

※浮動株

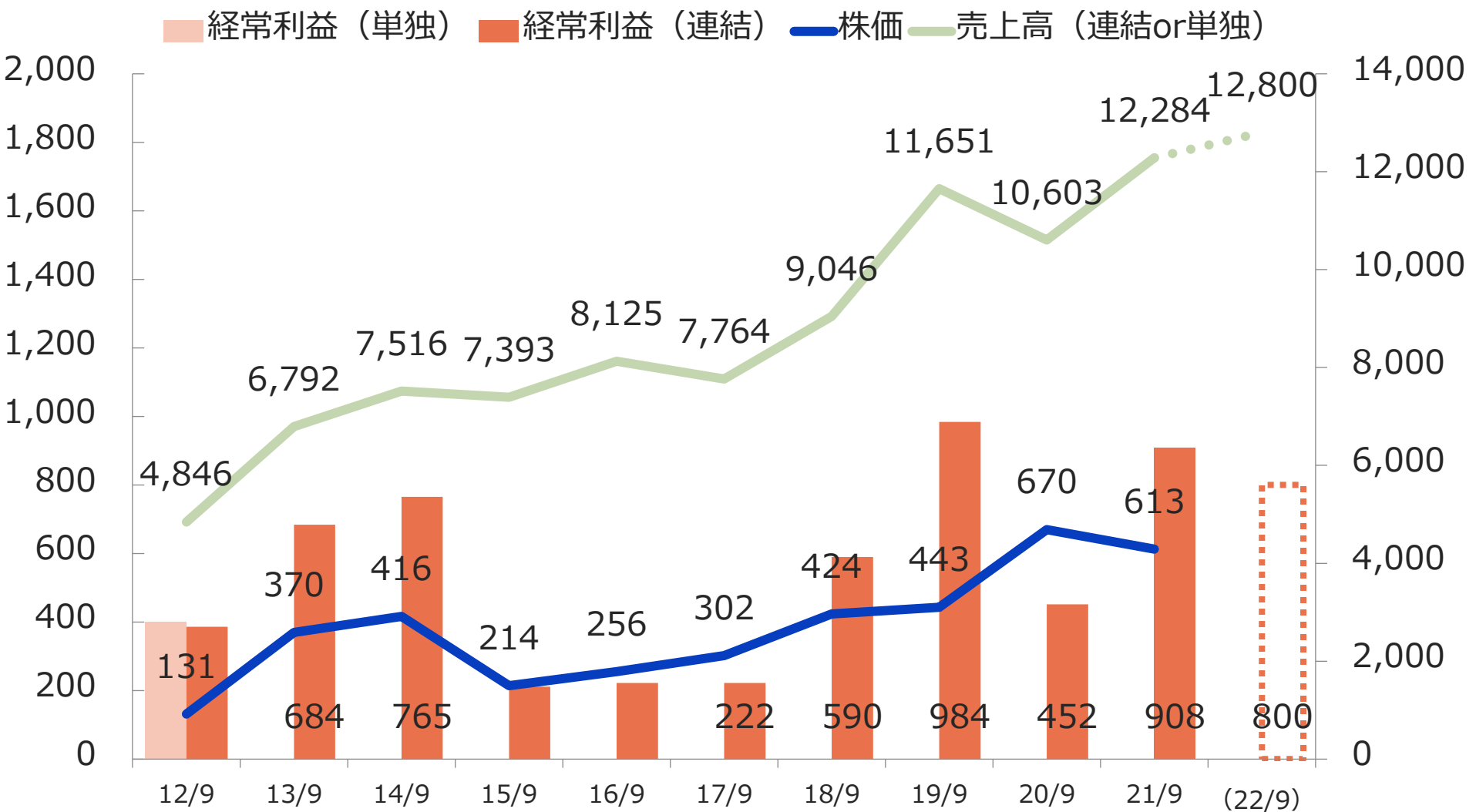
100株以上5,000株未満の株主が保有する株式数



※当社は2021年9月30日時点で自己株式を217,014株保有しております。

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

業績・株価の推移



※株価については、過去の株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の推移を示しております。



2021年9月期 決算説明会資料

本資料に含まれる業界の動向や分析、今後の見通し、施策等は、現時点における情報に基づき判断したものであります。従いまして、将来の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

投資を行う際は、利用者ご自身のご判断で行われますようお願いいたします。

(連絡・お問合せ)
株式会社 C E ホールディングス
経営・事業企画室
TEL.011-861-1600